

## ベヨネース列岩（明神礁）の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

< 噴火警報（周辺海域）が継続 >

3月24日及び25日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、明神礁付近で変色水が確認されました。

今後、小規模な海底噴火が発生する可能性があるため、24日15時00分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。周辺海域では噴火に警戒してください。

### 活動概況及び防災上の警戒事項

3月24日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、明神礁（東京の南約400km、青ヶ島の南南東約65km）付近で、薄い黄緑色の変色水（直径約30m）が確認されました（図1左）。

また、25日に同庁が再び実施した上空からの観測によると、明神礁付近で、黄緑色の変色水（直径約200～300m）が確認されました（図1右）。変色水は12時20分に確認され、約1時間後にほぼ消失しました。

なお、両日とも浮遊物は確認されていません。

変色水は火山活動の活発化を示していると考えられ、今後、小規模な海底噴火が発生する可能性があるため、24日15時00分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。周辺海域では噴火に警戒してください。

明神礁では、1952年から1953年にかけて大規模な火山活動が発生し、新島が形成されました（その後消滅）。1952年9月24日の噴火で調査中の船舶が遭難しています。その後、1954年、1955年、1960年、1970年にも噴火が確認されています。

海上保安庁等の観測によると、1971年以降も、明神礁付近では時々変色水が確認されましたが、1988年を最後に変色水は認められていませんでした。



3月24日11時50分撮影（高度約1000m）  
（観測時間11時44分～11時58分）



3月25日12時28分撮影（高度約150m）  
（観測時間11時02分～14時10分）

図1 明神礁付近の変色水（点線楕円内）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。



図 2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及びベヨネース列岩の位置図  
ベヨネース列岩は、東京の南約 400km、青ヶ島の南南東約 65km に位置します。

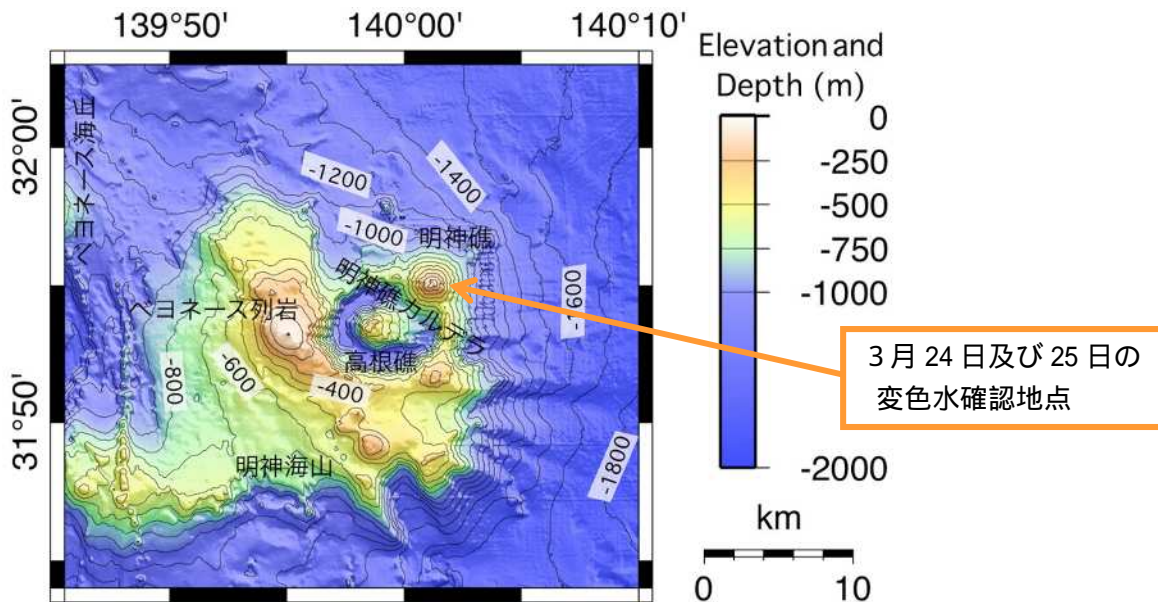


図 3 ベヨネース列岩付近の海底地形図と変色水確認地点 ( )  
この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。  
明神礁の最浅部は水深 50m、北緯 31 度 55.1 分、東経 140 度 01.3 分です。  
(日本周辺海域火山通覧 (第 4 版) (海上保安庁, 2012) に加筆)